



日本共産党野洲市議団(11月16日) 知事に市民要求の実現を要望



福祉・医療、交通安全など実現せまる

日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)を始め、滋賀地方議員団は16日、嘉田県知事に対して、市民の切実な要求実現をめざし交渉を行いました。要望は、知事が公約に掲げた栗東新駅の「限りなく中止」の実行や、介護保険 国保税の減額 免除を県制度として拡充することなど、各分野にわたる130項目を要求しました。

7月の知事選挙は、ムダな公共事業をやめ、県民の税金は暮らしと福祉、教育を守るために使うべきという、県民の意思が示されました。こうした中で、来年度の県予算編成が行われます。

日本共産党地方議員団は16日、知事や県当局に対してこの間寄せられました切実な要求の実現を求めました。野洲市からは、介護保険や自立支援に対する県の独自施策実施、野洲病院の小児科日曜日診療の再開へ、県が医師派遣や不足問題で努力すること。また通学路における危険踏切の改善など要求しました。

主な要望事項

野洲病院の小児科日曜診療の再開を危険踏切の拡幅し通学の安全対策を

- 新幹線栗東新駅を始め、ムダな公共事業や不要・普及のイベントなどは中止されること。
- 中学校卒業までの医療費を県制度として無料化されること。
- 滋賀医大の医師派遣中止により野洲病院の小児科日曜日診療が休診となったが、県が再開のために尽力されること。
- 障害者自立支援に対する県独自の軽減措置を3年と時限を切らないこと。原則個人負担をなくす措置をおこなうこと。
- 介護保険の保険料利用料への低所得者対策充実へ、県の独自制度を創設されること。
- 地下水保全条例を制定されること。
- 無担保無保証の融資制度を1500万円まで引き上げられること。
- 住宅リフォーム補助制度は成果をあげてきた。県として耐震補強工事も含めたリフォーム制度を創設されること。
- 児童の通学路になっている「柿ノ木原踏切」「新踏切」は狭く、拡幅して踏切内の歩道を整備されること。
- 30人学級の早期実現。当面、35人学級を実地されること。
- 養護学校の寄宿舎の果たす役割を認識し存続されること。



12月定例市議会や来年度野洲市予算に対するご要望をお寄せください

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年11月19日 104

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~kosuga/>

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@yahoo.co.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~nonami/>